

「海外で風船アートを見て、こんな夢のある仕事がしたいと」

今の仕事を始めたのは、もう10年以上も前に米国に行った時、風船の可愛い飾り付けを見て、日本では見たことがなかったので、自分でこういう物を作ってみたいなと思ったのがきっかけです。その時は学生だったんで、漠然ときれいだなと思っただけなんですけど、卒業してから、いざ仕事を選ぼうと思った時に、こんな夢のある仕事をしたいなと思ったんです。



東京に風船作りの基本を教えてくれる所があって、短期集中の4日ぐらいで基本を教えてくれるので、そこで風船の扱い方とかを教えてもらって、実際の現場に参加させてもらったりして勉強をしてきました。この仕事を始めた最初の頃は、店舗がなく、家に電話だけを引いて仕事をしていました。電話を受けたら、自分達が出向いてイベントとかの飾り付けをするという体制です。そうこうしている内に、イベントだけでなく、誕生日とかギフトとかで風船を買いたいというお客さまが増えてきました。その何年か後に、お店の方を始めたんです。

お客様は、誕生日のお祝いとして使用する方が圧倒的に多く、出産とか開店とかで使われる方も多いですね。車の展示会やショッピングセンターのイベントとかの仕事もあり、会場で前日に仕上げてしまうということが通常です。店が閉店してから次の日の朝の開店までに作りあげるということが多いです。大きいものを作る時は、大勢のスタッフに協力してもらって作りあげます。スタッフは、そのイベントの規模に応じて、浜松だけでなく、その土地の同業者の方をお願いをして対応しています。

「夢のある風船アートを日本中に広めていきたい」

私は、小さい頃から、絵を書いたりすることが好きでした。何年か前にタイで風船のドレスを作る仕事がありました。その時はタイで有名な女優さんと俳優さんが風船のドレスを着てくれて、劇やショーをする時に、そのコスチュームで出演してくれました。風船アートはそんな楽しい仕事なのですが、浜松には、風船のお店はあまり多くはないですね。全国的に見てもショップとしては、お花屋さんのようにたくさんあるわけではありません。

仕事で心掛けていることと言えば、常に色のきれいな物をなるべく意識して見るようにしていますね。その物の全体の雰囲気を見るということもありますが、どちらかというと、

この色とこの色が合うとか、綺麗だとか、パツとするとかを普段から考えて見るようにしています。

普段、見過ごしてしまうような所も、何が綺麗なのかを考えながら、その綺麗なもの、かわいいものを意識してたくさん見るようにしています。形に仕上げていく段階で、例えば動物を作る時には、自分で絵を描けるものを形にしていきます。逆に風船を扱っていて、これは何かになるんじゃないかとひらめいた時に、そのアイデアを入れて作るということもあります。



作る前には、デッサンを書くこともありますし、書かずにそのまま作ることもあります。小学校の子供達向けのバルーン教室の内容を考える時に、どうしたら子供達でも簡単に、苦勞なく作ってもらって、なおかつ見栄えがして、かわいいものができるかと悩むこともありますね。

今、日本中のいろんな所でこの仕事をさせていただいていますが、装飾だけでなく、アート教室などの仕事も多いです。結構イベントなどでは、風船を使ってもらえているので、今後はお店の方も頑張って、ギフトとか誕生日とかで、もっと風船を生活の中に溶け込ませて、夢のある風船アートを日本中に広めていけたらと思っています。



「浜松の女性は頑張り屋が多いし、いろんな事に精力的」

私の周りの浜松の女性は、やっぱり頑張り屋が多いですね。いろんな事に精力的で常に努力する人が多いと思います。

私にとって浜松は、近くに海があって、山があって、川があって、自然がいっぱいある素敵な場所。食べ物も美味しいし、特にうなぎは大好きです。自然も食材も豊富なのが浜松という街です。実際に住んでいて住みやすい街だと思っています。

それから、特に水がきれいですよね。地方に行ったりして仕事をすると、その地域の水で肌が荒れたりすることもよくあるんです。やっぱり浜松の水が私には合っているの、浜松の家に戻ると調子がいいんです。だから、浜松が私の“パワーの源”なんです。